



2021年10月29日

各 位

会社名 富士興産株式会社  
代表者名 代表取締役社長 保谷 尚登  
(コード番号 5009 東証一部)  
問合せ先 取締役執行役員経理部長 松崎 博文  
(TEL. 03-6859-2050)

## 2022年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2021年5月28日に公表した2022年3月期第2四半期連結累計期間(2021年4月1日~2021年9月30日)の業績予想値と、本日公表の第2四半期連結累計期間の実績値において下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 2022年3月期第2四半期連結累計期間業績予想との差異(2021年4月1日~2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	24,000	100	130	90	11.29
実績値(B)	22,485	135	171	84	10.66
増減額(B-A)	△1,514	35	41	△5	
増減率(%)	△6.3	35.1	32.3	△5.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	16,375	321	510	390	48.81

#### 2. 差異の理由

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、石油事業は、原油高による採算の悪化や経済活動の回復の遅れによる販売数量の減少から計画は下回ったものの、ホームエネルギー事業については、一般管理費の減少などにより計画を上回りました。また、レンタル事業においても、保有資産の効率的な運用や修理費用の減少などにより、業績は計画を上回りました。

この結果、売上高は、石油事業の製品販売数量の減少などから計画を若干下回ったものの、営業利益と経常利益は、ホームエネルギー事業とレンタル事業の増益などから計画を上回ることができました。

なお、通期の業績予想につきましては、当社グループの事業は季節変動が大きく、売上高・利益ともに通期に対する第1・2四半期の占める割合が低いことから、前回公表値(2021年5月28日公表)から修正は行っておりません。

以上